

2020年4月8日

YMCA おひさまをご利用の皆さま

YMCA おひさま  
管理者 松田康之

平素より YMCA へのご理解、ご協力をいただき、心より感謝いたします。

新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大により、世界でも、日本でも多くの方々が困難な状況に置かれていることを覚え、一日も早い日常の回復を祈るばかりです。

経験をしたことのない状況の中で、皆さまも不安を感じておられることと想像します。

4月7日には政府の緊急事態宣言が発令され、兵庫県も対象地域と位置付けられました。

幼稚園や小学校も原則的に5月6日までの休校園が発表され、企業でも在宅勤務の奨励がなされています。

YMCA として、おひさまの対応をどのようにするか、時間をかけて検討してまいりましたが、保護者の皆さまからの自主的な欠席連絡やご不安の声を受け、何よりも命を優先することを第一に考え、神戸市とも確認の上、4月9日から5月6日までの期間を休所させていただくことといたしました。

このようなことを検討する中で、子どもたちにとっても、保護者の皆さまにとっても、日常生活の一環としておひさまへ通っていただいていることや、その中でふれあいが大切であるということを職員一同、改めて感じています。

しかし今この時、何よりも命を守ることを最優先に考え、このような判断をさせていただくことをご了承いただければ幸いです。

なお、休所期間中もお電話やメールでのご相談はお受けしていきます。(月～金曜日の9:00～17:00)

また、インターネットを活用した遊びや教材の発信をさせていただきたいと考えています。

事業所の再開については感染症の状況を見極め、行政からの通達も踏まえつつ、変更となる場合には、改めてご案内いたします。

先行きの見えにくい状況の中で、一人ひとりが困難な状況にあり、不安を覚えていることと思います。

そしてこのような時は、誰かを責めたり、感情的になったりしがちです。

ですが、必ず乗り越えていくことができることを確信し、冷静に考え、心を穏やかにしながら、今できることを少しずつ積み重ねていければと思います。

YMCA のベースとなるキリスト教では「確かに未来はある。 あなたの希望が断たれることはない。(箴言 23章 38節)」というメッセージがあります。

希望を携えつつ、皆さまの心身の健康が守られ、この困難の時を共に乗り越えていければと思います。